

みどり合同税理士法人グループ(高松市)は、経営者らが最新の経営手法などを学ぶビジネススクール事業に乗り出す。年間を通じて講座を開いて専門知識を身に付けてもらい、受講した企業のコンサルティングも視野に入れる。第1弾として4月から、売り上げアップをテーマにした「みどり増販研究会」を立ち上げる。

同グループは会計や税務のほか、事業承継やマーケティングなど、企業に対するコンサルティングを手掛ける傍ら、これまでも単発のセミナーなどを開催

みどり税理士法人グループ

経営の手法 学べます

4月からビジネススクール事業

してきた。今後、継続的な講座で、より実践的な経営手法を学んでもらう。

講座は10~15人程度の少人数で、月1回程度、ゼミ形式で行う。講師はグループ所属の税理士やファイナンシャルプランナー、マーケティングプランナーらが務め、外部からも招く。会場として、高松市栗林町の9階建てのビルを既に取得してお

り、9月にも各講座を開講する。

講義だけでなく、参加者同士の交流会や企業の視察も実施。受講生のコミュニティーをつくって、新しいビジネスチャンスにつなげてもらう。

第1弾のみどり増販研究会では、売り上げアップに成功した企業の事例を研究し、マーケティングの基礎を学ぶ。小規模事業者も含め幅広い経営者が参加

できるよう、受講料は年間3万円と低額に抑えた。

今後、▽後継者の育成▽ITを活用した経理の効率化▽医院経営一などの講座を順次開く。

同グループの三好貴志男代表は「企業が成長するためには、経営者らが継続的に学ぶことが必要。個別のコンサルティングにもつなげ、企業を支援したい」としている。